

もっと元気 もっと追求 もっと行動

とみた幸樹を

TOMITA KOKI

令和4年
特号

motto

「もっと」



略歴

昭和36年9月24日生まれ
 平成25年2月 唐津市議会議員
 平成29年2月 唐津市議会市民厚生委員会 副委員長
 // 唐津市議会だより編集委員会 委員長
 令和元年4月 佐賀県議会議員
 令和3年4月~令和4年3月 新幹線問題対策等特別委員会副委員長

役職

- ・佐賀県軟式野球連盟審判部(九連指導員)
- ・唐津市軟式野球連盟理事(審判部副部長)
- ・農林水産商工常任委員会副委員長(R4.4~)

議員活動

唐津大橋4車線事業化

唐津大橋4車線化を、県議になり唐津玄海地区の県議団(故桃崎・井上県議、大場県議・富田)で要望・陳情活動を続けてきました。令和4年度3月末事業化になり、8月に佐賀国道事務所長よりパンフを頂きました。早期完成に向け更に事業促進を要望していきます。



廃油入ドラム缶2,059本撤去完了

「命の水の安全を確保」唐津市の水源地域を守るため佐賀県が撤去の措置命令を出すも撤去がなされず、放置されていた唐津市巖木町星領の中間処理場。県へ再々要望し、県担当者の粘り強い指導が実り、令和4年1月撤去が完了。



追い越し車線規制へ!

北波多稗田地区の県道、保育園があり追越し可の白破線で危険なため何らかの規制が必要で追越し禁止規制を地域住民からの要望を受けていました。交通規制の担当者と立会し、追越し禁止の中央線に変更できました。(令和4年9月)



県河川の浚渫ようやく完了!

令和4年2月上旬に、地元の方々と共に要望を受けた夕日川の浚渫。(令和4年7月末に完了)



国道203号線防草シート工事完了

地域から要望のあった、国道203号線のり面の草刈りをお願いしていましたが、防除シート工事にて施工頂きました。(令和4年8月末に完成)



地域の思いに寄添います!

これからも、地域の皆さんに思いに寄添い唐津・玄海地区と佐賀県の発展のため、国会議員・市町議会議員の皆様と地域の課題解決のため、県政とのパイプ役として議員活動を推進してまいりますので、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



議会常任委員会現地視察
(大町災害廃棄物集積場)



有明沿岸道路現地視察
(佐賀県白石町)

motto とみた幸樹会報
とみた幸樹事務所
 〒849-3231 佐賀県唐津市相知町牟田部865-1
 TEL/FAX 0955-62-2570
 E-mail:kouki-93@vc.people-i.ne.jp



とみた こうき | 検索



皆様には、日頃よりご指導いただきありがとうございます。

令和元年に県議となり、初めての定例議会で、議会の運営や一般質問、常任委員会の発言手順など、市議会で経験した事とは違い、戸惑うことや先輩議員の動向を観察するなど、そのような経験から3年半が過ぎ、この間行ってきた活動や一般質問等の一部をご紹介します。

定例議会(一般質問等) 質問と回答

令和元年 重度心身障がい者医療費助成制度について

子どもの医療費助成は、小学生まで現物支給(窓口で定額一部を支払う)方式がよく実現した。しかし、重度心身障がい者の医療費助成制度は、償還払い(窓口で一旦支払った後に、市町に助成金を申請)方式のままである。障がい者やその保護者は手続きが大変である。現物支給方式へ県の取組みは。

現物支給方式について

現物支給方式には、国民健康保険会計への国庫負担金の減額調整措置(国保ペナルティー)により多額の財政負担が新たに生じるほか、審査事務手数料が必要となる。毎年市町に制度の見直しのアンケートを実施し意見交換をしたい。

令和三年 佐賀県唐津道路の唐津一相知間について

広域的な幹線道路網は、各都市間の時間や距離を縮め、産業振興や地域振興を図る上で欠かすことができない重要な社会資本である。現在多久・佐賀間が国において施行されているが、唐津・相知間を、県としてどの様に取り組むのか。

今後の取り組み

唐津・相知間を含む佐賀唐津道路は、本県の将来を支え発展の基盤となる重要な道路である。できるだけ早く整備に向けた道筋が示されるよう国へ働きかける。

治水対策について

本県では、2年連続(令和二年)で豪雨による大規模な浸水被害が発生し、今年の8月災では住家屋等の被害が6千戸を超えるなど被害は甚大であった。特に被害が大きかった六角川水系では、今後の治水対策について急ピッチで対策が進められていると聞く。このようなか、松浦川水系も例外ではなく床上浸水や主要県道の冠水が2年続けて発生している。そこで次の点について伺う。

厳木川、町切・本山地区の河川整備状況は。

本年度は、今後の整備に向けた地形測量や地質調査を実施。本山鉄橋と県道本山橋が有ることから協議の場を早期に設置する必要があるが、県としての今後の取組は。

令和四年 流域治水の推進について

今年も甚大な被害が発生した武雄・大町地区など有明海を臨む流域を思い浮かべがちだが、唐津地域にも浜玉駅南、久里中原、相知町佐里地区など浸水被害地区や危険区域がある、県の支援は。

対策検討について

唐津市では、今年度から県の補助制度を活用し浸水被害の要因分析や対策検討を進めている。

企業誘致について

新産業集積エリア唐津(厳木)地元では、人口減少から早期の企業誘致を望まれているが、造成完了から10年余りが経過し払下げ単価の上昇や、鳥栖工業団地の開発が始まり、企業誘致が更に遠くではないかと危惧する声がある。そこで、企業進出に至っていない理由は。

理由について

これまで複数の企業から災害のリスクも低く、交通アクセスの良さなどで高く評価され、最終候補地になった事もあるが成約には至っていない。理由として、工業用水が無いことから水道水のランニングコストが課題。県北部地域における雇用の場の創出、地域経済の

と聞く。県としても関係機関との協議、調整にしっかりと取り組むとともに、予算確保に向け国へ働きかける。

松浦川支流、浦の谷川流域の相知町佐里地区の浸水対策における県の取組は。

地域の地形特性、浸水被害の状況を踏まえて、国、唐津市などの関係機関と連携し、地元の意見も聞きながら、どのような対策が有効であるか幅広く検討する。

その他の質問

- ◎玄海地区の水産業の振興について
◎虹の松原の保全について
◎洪水時のダム運用について
◎消防防災ヘリコプターの運航について

令和二年常任委員会 「佐賀誓いの鐘(仮称)」の設置について

コロナ感染症対策に従事している医療従事者や感染者に対し諷中傷を無くそうとする取り組みは理解できる。そこで予算の内容について伺う。

反対意見

私が調査したところ、諸経費の35万円にはセレモニークが30万円と

唐津プロジェクト

県は、特別史跡名護屋城跡・陣跡の整備を今後どのように取組んでいくのか。

環境整備について

これまでの保存管理計画には活用の視点が無かった。県が主体となって保存活用計画を策定中であり、活用の視点を重視し唐津市や玄海町、地元の方々と協力しながら観光資源として磨き上げ、城跡・陣跡の環境整備に努める。

その他の質問

- ◎九州新幹線西九州ルートについて
◎庁舎建物の個別施設設計画について



もっと元気
もっと追求
もっと行動



- ◎「SAGA2023」について
◎九州新幹線西九州ルートについて
◎消防防災ヘリコプター拠点工事
◎行政手続きのデジタル化について
◎予算編成について

その他の質問



- ◎唐津プロジェクトについて
◎電源立地地域の安全対策について
◎九州新幹線西九州ルートについて
◎建設業の担い手確保について

その他の質問

